様式第３号

富山県SDGs宣言実施状況報告書

令和８年４月２２日
企業・団体名　とやま生活協同組合
代表者名　代表理事 理事長　寺岡 富美夫

富山県ＳＤＧｓ宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

１　取組み期間　　　令和７年４月１日～令和８年３月３１日

２　取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 事業・活動を通して、温室効果ガス削減に取り組みます。 【実施状況】 (1) 「2030年にCO2排出量を2013年度比で60%削減」することを目標に取り組みを進めています。2025年度のCO2排出量は1,382t(前年比94%)で、2013年度比で63%削減できました。 (2) とやま生協が使用する高圧電力に富山県営の水力発電所で発電された「とやま水の郷でんき」を導入し、10月にオープンした〈CO･OPきょうどう店〉に太陽光発電設備を設置するなど、エネルギーの地産地消を進めました。 (3) 〈CO･OPきょうどう店〉は「電力由来のCO2排出量0(ゼロ)」かつ「電力の地産地消100%」の店舗に、また、全福祉事業所で「電力由来のCO2排出量0(ゼロ)」を達成しました。 (4) とやま生協の消費電力量に対する再エネ比率は99.6%まで引き上がりました。太陽光発電の総発電量は112万kWh、うち自家消費量は86万kWhで、とやま生協の消費電力量に対する自家消費率は約13%となり、393tのCO2排出量削減に貢献しました。 (5) 組合員に呼び掛けて、くらしの中での温室効果ガス削減について考える一つの機会として、無理のない範囲でご家庭の１ヵ月間の消費電力量を削減する「みんなで節電アクション」にも取り組み、161世帯526人が参加しました。参加者全員で削減できた電気使用量は9世帯分の1ヵ月の消費電力量(全国平均)にあたる3,080kWhで、杉の木100本が１年間に吸収できる量に相当する1,400kgのCO2が削減できました。
2	【目標】 助け合いの組織として、平和で公正な社会づくりを進めます。 【実施状況】 (1) 平和の取り組みは、被爆･終戦80年の節目として、県内生協と連携し「平和のつどい～被爆ピアノコンサート～」を開催しました。 (2) ユニセフ募金やご家庭に眠っている書損じ・未使用のハガキや切手、商品券などを集めて国際支援をする「書損じハガキetc.回収キャンペーン」に取り組みました。 (3) 災害復興支援として、能登半島地震復興支援では氷見市での災害ボランティア活動や社協と連携した活動に、東日本大震災復興支援では「福島復興支援視察交流ツアー」や「震災復興支援学習会」に取り組みました。 (4) 男性スタッフの育休取得の推進と、ハラスメント防止の教育・学習に取り組み、「働きやすい職場づくり」を進めました。
3	【目標】 組合員とともにエシカル消費、食品ロス削減、リサイクル活動に取り組みます。 【実施状況】 (1) エシカル消費対象商品の普及に取り組み、供給高は21.7億円(前年比114%)となりました。2月に実施したサステナビリティ・アンケートの結果では、エシカル消費の理解度が50%となり、前年の36%から大きく向上しました。 (2) 機関誌やホームページなどの広報媒体で回収可能な資源について案内し、生協事業で排出される資源のリサイクルに取り組みました。1月からは宅配配達時での「色付き・柄付きトレー」も回収も始めました。 (3)〈CO･OPきょうどう店〉に「消滅型生ゴミ処理機」を導入し、お店で発生する食品廃棄物を100%排水に転換することで、食品廃棄物と廃棄コストの削減に繋がりました。 (4) フードドライブに、店舗･事業所･イベントで取り組み、年間で468kgの食品を寄附いただきました。寄附いただいた食品は、社会福祉団体の他、福祉施設、こども食堂などにお届けしました。

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から３か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。